

【本件の問い合わせ先】

担当理事：和田 浩(携帯) 090-6835-4028

担当理事：大嶋辰也(携帯) 090-6849-3152

防災（豪雨災害・震災等）研究などの研究発表会を開催

島根県技術士会では、会員の技術力向上と技術を通じた地域貢献を目的として研究活動を行っており、毎年この時期に研究成果の発表会を開催しています。

研究活動には、会員が共同で行う分科会による研究と個人で行う研究があります。近年は、技術力向上のみならず、地元島根の元気復活を目指して、地域貢献をテーマとする研究も多く行うようになってきました。

今回は、昨年夏に県内で発生した豪雨災害や東日本大震災から3年目の現地視察報告といった”いかにも技術屋”らしい話題から、今福線や庭園文化のマップづくり、八雲風穴、江の川橋梁群など、埋もれている地域資源の活用に関する研究まで、多彩な発表内容になっています。

このような私共の活動を広く一般の皆様方にも知って頂きたいと考え、下記のとおりお知らせします。

記

◆日時：平成26年1月18日(土) 13:00～17:30

◆場所：島根県職員会館（2階大会議室） 松江市内中原町52番地（県立武道館の西隣）

1. 分科会発表

■防災分科会(防災部会)

- ・日貫視察報告
- ・津和野町名賀川流域における平成25年7月豪雨災害

児島秀行
加藤芳郎

13:05～13:30

☆防災部会では平成25年夏に島根県で発生した豪雨災害（津和野、日貫地区）について報告するとともに「災害を躲す」方法について提案します。

■水資源・水環境分科会

- ・千本ダム・大谷ダムならびに忌部浄水場視察報告

西田修三
篠田秀一

13:30～13:55

☆土木学会選奨土木遺産に指定された「千本ダム」をはじめ、登録有形文化財に多数登録された忌部浄水場は、先人の高い土木技術が今に伝えられています。近代水道を造った先人たちの技術力と安全で安定した水道供給における浄水技術について報告します。

■島根の地域振興研究分科会

- ・八雲風穴の研究

坂田聖二

13:55～14:20

☆出雲市佐田町朝原にある“天然のクーラー”八雲風穴は、年中10℃前後の気温を保つ夏場の人気避暑スポットです。冷氣発生のおくみを調べるため、風穴内外の気温観測を始めました。佐田町には他にも冷氣を発する箇所があるので、今後も調査を進めるとともに、その活用を考えていきたいです。

■庭園文化研究分科会

- ・島根の庭園マップ

宇野真一

14:20～14:45

☆旧松江藩内でしか見られない”出雲流庭園”など県内には地域文化を反映した日本庭園が数多く存在します。研究分科会では“島根の庭園マップ”を作成しGoogleMapsでの一般公開に取り組んでおり、今回はβ版による概要説明を行います。

■今福線研究分科会

14:45～15:10

・石見のお宝「幻の今福線」

服部輝明

☆中国地方地域づくり等助成事業を活用して、幻の鉄道「今福線」の遺構を紹介するマップ（初版）を完成させ、地域の方と全長1.6kmの直線区間を有する下長屋トンネルの現地調査を行いました。マップや廃線トンネルを利用した地域振興について提案しま

【休憩】

15:10～15:20

■生物多様性分科会

15:20～15:45

- ・自然再生が図られている八幡湿原を視察して
- ・赤名湿地性植物群落の自然観察

細澤豪志
河合和義

☆北広島町の八幡湿原で行われている自然再生事業や飯南町の赤名湿地性植物群落の現地視察を通じて、島根県における生き物や環境の保全を考えてみました。

■江の川橋梁群調査研究分科会

15:45～16:10

- ・江の川に架かる橋梁群

余村 浩

☆中国地方最大の一級河川である江の川には、大規模でかつ様々な構造形式の橋が数多く架けられ、全国でも珍しい橋梁群となっています。当分科会ではこの橋梁群の建設経緯や歴史的背景を紐解くとともに、これからの活用方法などを探っていきます。

■東北視察の報告（青年部会）

16:10～16:35

- ・東日本大震災から2年半が経過した被災地の現状と課題（東北視察の報告）～津波被災の教訓を島根で生かすには～

大坂伊作
嘉藤 剛

☆東日本大震災から2年半が経過した昨年9月、宮城県を主体に復興状況等の視察を行いました。本発表ではその視察全体の概要説明と、旧大川小学校等での津波被災について考察します。

2. 個人発表

■宍道低地帯の地形発達史に関する覚書

渡邊 農 16:35～16:45

☆郷土史誌や古地図変遷図などの誤りを指摘した資料はほとんど見られません。ここでは、佐陀川開削説が捏造資料に基づいていることを示すとともに、宍道低地帯の西側に焦点を絞り、古地図などを基にして推測される疑問点を取り上げ、問題提起します。

■出雲建国の国引き神話とかなび山

吉田 薫 16:45～16:55

☆三瓶山と2つのかなび山、すなわち仏経山と朝日山は直線で結べます。大山と茶臼山、大船山も同様です。偶然とも思えないこの並びは、出雲国風土記の「国引き神話」に関係しているのではないのでしょうか。

■「波路をこえて」（映画上映）

村上英明 16:55～17:15

☆今から400年昔、佐渡金山の大規模開発に働く人々を食料の面から支えるために、石見の国の漁師48人が佐渡島へ渡りました。今も島に生きている石見人の真実を描きます。